

R2 HRCC WEBセミナー

# イノベーションを生み出す 方法論

2020年7月

研究・産学連携推進機構 高度人材育成センター

## 【プログラム】

令和2年度 HRCC WEBセミナー

# イノベーションを生み出す方法論

～デザイン思考・システム思考のエッセンスを学び、イノベティブな人材となるために～

博士課程の学生が、社会に出て、(あるいは、在学中もより一層)活躍するために、

- ・イノベーションを生み出す「デザイン思考」「システム思考」のエッセンスを学び、
- ・単に学ぶだけでなく、自分に取り入れて活用することを考える

### <セミナーの効果>

受講前		受講後
デザイン思考、システム思考って、何？	→	要するに、こんな感じのことね
行動がワンパターン。発想の得方がわからない	→	「発想が必要なときは、こういう行動をとってみよう！」というのが浮かぶ
事実把握が曖昧なまま、憶測で物事を進めてしまう	→	事実を具体的に把握し、新たな事実を発見できる。それによって、新しい行動を生み出せる。そのやり方がわかった
自己を殺し、指示通りのことをするのが仕事	→	仕事は自己発揮と成長の機会。自分の持ち味を発揮し、社会貢献し、評価・賞賛されよう

	テーマ	内容
第1回 (3時間)  10月7日 午後	「イノベーション」  「デザイン思考」	<b>【講義】</b> ①オリエンテーション(4回のセミナーの概要) ②イノベーションとは何か？ ・定義とビジネス事例 ・なぜ今、イノベーションが注目されるのか ・イノベーションを引き起こす「ものの見方・考え方」 ③デザイン思考とは何か？ ・デザイン思考のプロセス ・デザイン思考における『新しい発想』の得方 ④自分流発想プロセスの探求 <b>【ワーク】</b> ・自分はどのようにして発想を得ているのか。発想が得られた過去の事例をふり返り、自分ならではの発想法を探る
第2回 (3時間 ×2)  10月9日 午前/午後	「システム思考」	<b>【講義】</b> ①システム思考とは何か？ ・システム思考とは、出来事の要素細部を見るのではなく、システム(系)の全体像を捉えようとする考え方 ・ポイントは2つ。視野視点の持ち方と、正確な事実把握 ・視野視点の持ち方トレーニング <b>【ワーク】</b> ・事実把握トレーニング(インタビュー形式自己紹介) ②事実把握 実践トレーニング ・自身の直面している問題に対して、新しい視野視点から丁寧な事実把握をすることで、今まで見えていなかった新たな取り組み(打ち手)を見出す
第3回 (3時間)  10月1日 午後	「柔軟思考」 「構想思考」  セルフ・イノベーション(自己革新)	<b>【ワーク】</b> ①柔軟な思考のトレーニング ・簡単なワークで、真逆な発想の得方をトレーニング <b>【講義】</b> ②構想思考 ・目的を考えることで新たな取り組みを生み出す思考技術 ③意志とイノベーション ・意志があったから気づけた、イノベーションが生まれた事例の紹介 <b>【ワーク】</b> ④仕事に意志を持つために ・自分のやる気のスイッチを把握して、やる気スイッチが入るように取り組み方を自らアレンジする

【対象者】 群馬大学 大学院生、ポスドクで以下条件を満たす人

- ・全日程ZOOMで出席可能な人
- ・日本語の授業が理解できる人

【受講人数】 15名（定員を超えた場合は、HRCCにて決定）

【開催日】

第1回 10月7日(水) 12:40～14:10、14:20～15:50（3時間）

第2回 10月9日(金) 8:40～10:10、10:20～11:50、12:40～14:10、14:20～15:50（6時間）

第3回 10月14日(水) 12:40～14:10、14:20～15:50（3時間）

【講師】

東京論理思考事務所 代表 齊藤 文雄（さいとう ふみお）氏

1988年東京大学理学部卒。石油会社で地質技術者として石油探鉱に5年、その後、コンサルタント会社で省庁や地方自治体へのコンサルティングに8年半従事。2001年、人材育成のベンチャー企業に参画し、2002年東京論理思考事務所設立、現在に至る。

「出勤するのが楽しみな世の中」の実現に向けて、ロジカルシンキングや問題解決、自己把握や自己発揮、リーダーシップや他者理解、新規事業の企画立案や立ち上げなどを、セミナーやコーチングで支援する。

知識系ではなく思考系のセミナーなので、広い分野での実績がある。

主な研修実績：味の素ゼネラルフーズ、伊藤忠商事、NECネクサソリューションズ、沖データ、カシオ、住友商事、東京ガス、東京電力、東武鉄道、ニッセン、日本マクドナルド、三菱グループ、富士電機、古河エレコム、メナード化粧品、ヤクルト、雪印乳業、ロッテなど。